

| 3側面 | <SDG s 達成に向けた重点的な取り組み> | <2030年に向けた指標・目標値と2020年実績値> | |
|----------|--|-------------------------------|--|
| 環境 社会 | ・地域木材による木質製品を供給することで 街に炭素（≒CO ₂ ）を固定化し、陸の豊かさを守る。 | CO2固定量： | 2030年：5000t -CO2 (2020年実績：2754t -CO2) |
| 環境 社会 | ・木質・木造化施設へ地域木材による部材供給を行い、 住み続けられるまちづくりを実現する。 | 公共施設への供給棟数： | 2030年：年間30棟 (2020年実績：年間23棟) |
| | | 民間施設への供給棟数： | 2030年：年間50棟 (2020年実績：年間22棟) |
| 環境 経済 | ・新たな製品や木構造システムの開発、新生産システム・設備導入を通じて 木材産業のイノベーションの推進を図る。 | 開発案件数： | 2030年までに5件 (2020年実績：1件、異樹種高強度集成材) |
| 社会 経済 | ・被災地域の復旧・復興への取り組みを強化し、 自治体と連携しながら地域産業全体の活性化へ貢献する。 | 被災地域からの原木仕入量： | 2020年以降：毎年10,000m ³ (2020年実績：300m ³) |
| | | 被災地域への製品供給量： | 2020年以降：毎年 500m ³ (2020年実績：580m ³) |
| | | 被災地域からの雇用確保： | 2030年までに延べ50人 (2020年実績：15名、延べ15名) |
| 社会 経済 | ・女性、25歳以下の若手、高齢者、外国人材を積極的に雇用し、 木材産業、建築業界のダイバーシティ化と働きがいのある雇用を促進する。 | 女性、25歳以下の若手、外国人従業員の 新規採用数： | 2030年までに延べ25人 (2020年実績：5名、延べ5名) |